

平成 18 年 9 月 21 日

中部飼料株式会社

平成 18 年 10 - 12 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 18 年 10 - 12 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 18 年 7 - 9 月期に対し、全畜種平均トン当たり約 1,790 円値上げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物

とうもろこしのシカゴ定期は受粉期の適度な降雨により単収および生産量が改善され史上 3 番目の高水準が期待されております。相場は 12 月限で ϕ 240 台で推移しております。10 - 12 月期のとうもろこし価格は 7 - 9 月期比シカゴ定期は軟調なもののミシシッピ川のバージ運賃および海上運賃の大幅な値上がりと円安の影響から上昇が見込まれます。

蛋白原料

大豆油粕のシカゴ定期は 7 月の高温少雨で相場は \$ 170/ST 台でしたが 8 月中旬に恵みの雨が降ったことで相場は軟化しましたが、ミシシッピ川のバージ運賃および海上運賃の大幅な値上がりと円安の影響から 10 - 12 月期の大豆粕価格は 7 - 9 月期比ほぼ同価格が見込まれます。

魚粉価格は 10 - 12 月期使用分につきましては ペルーの 40%漁獲枠削減 中国の旺盛な需要から 7 - 9 月期比 30,000 円/t と大幅な値上がりが見込まれます。

海上運賃

米国ガルフ - 日本のパナマックス型海上運賃は鉄鉱石価格 19% 値上げ決定後上昇に転じました。中国の前年比 2 割増が続く鉄鉱石輸入 原油高を背景にした発電用の石炭の動きにより大幅に上昇しました。中国産とうもろこしの輸出停止や南米産穀物のコンスタントな荷動きでジリ高の展開となっております。10 - 12 月期は 7 - 9 月期に比べ大幅な値上げが見込まれます。

外国為替

7 月中旬、日銀がゼロ金利を解除し 0.25% の利上げを実施しました。さらに 8 月初旬、米国は利上げを休止し金利 5.25% を維持しております。7、8 月は 113 ~ 117 円台で推移しました。今後は日銀の追加利上げ観測が遠のき日米金利差から円が売られやすい状況が続くことから 10 - 12 月期の外国為替は 7 - 9 月期に比べ円安が見込まれます。

以上

* お問合せ先

中部飼料株式会社 経営企画部 (田中) TEL : 0562-33-2103